

巻頭言 …「中小企業は国の宝」～東日本大震災に想う～高山泰四郎 (高校 12 期) —	1
私の大学生活 (卒業生に贈る) —————	2
ひと …………… 梅林建設㈱企画室次長 藤野 幸嗣 (高校 24 期) —	6
日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ・九州女子担当 北川ちはる (高校 44 期) —	9
東京女子医科大学病院 研修医会長 石松 宏章 (高校 55 期) —	12
大震災特集 —————	16
在京大分中学・大分上野丘高校同窓会総会報告 —————	23
大分中学・第一高女・第二高女・大分上野丘高校関西同窓会報告 —————	24
在校生のページ —————	25
トピック —————	35
部会だより —————	37
(大中・第一高女・第二高女・高校)	
エッセー —————	54
高校同窓ゴルフ大会 —————	56
お悔やみ —————	57
全体理事・評議員会会議録 (平成23年度) —————	58
高校部会理事・評議員会会議録 (平成23年度) —————	60
同窓会役員名簿 —————	61
編集雑感 —————	67

表紙の言葉

高校6期 清水 和雄

高校卒業の春初めて上京した。進学は地元と決めていたが、今考えてみれば、もう一校受験させてやろうという、父の親心であったと思う。行きの車中私の制帽を見て前の席の人から声をかけられた。大申出身の先輩というその人は窓外を指しながら富士山が見えると運がいいと励ましてくれた。僅か5日の短い旅であったが帰りの車窓から別府湾越しに高崎山を見た時、なぜか随分懐かしさを感じた事を今でも覚えていいる。絵を描く様になってある時期、日出近辺に足繁く通って描いた事があつた。主役は高崎山なのだが、脇役がいる。それに何を選ぶか、更に両者のいい位置関係が必要なのだ。あちらの斜面、こちらの土手と一日中歩いてもそんな所が見つからず虚しく帰る日もあつた。思っていた場所に出会えば絵はもう半分出来た様なもの。一気に描き進み、目処がついた時の充実感は格別だ。それを求めて今も風景を探す旅は続いている。これはそんな一枚でもう40年近く前のものである。